

団体名・グループ名

逆川こどもエコクラブ

〈審査委員の評価のポイント〉

子どもと大人と一緒に活動し、ホタル保全活動、毎月の環境学習会、清掃活動等、年間を通じて活動していることが評価された。

また、ホタルを自然サイクルで復活させたことも高く評価された。

主な活動は以下のとおり。

- ・ホタルが発生するための3つの条件を体験する。
(草刈り、畦作り、水路ザリガニ釣り)
- ・活動内容を壁新聞にまとめて全国大会で発表。
- ・桜川のサケの卵の調査。

活動の場所

逆川緑地

活動したこどもの人数

120人

活動したこどもの学年

1年生～6年生

活動継続年数

9年

主な受賞歴

環境省環境保全中学生表彰(水・環境)、河川奨励賞

活動グループ(学校・団体)の紹介、活動頻度

木下、小供 合計243名が登録しています。

活動内容は、ホタル保全活動、年3回、毎月1回テーマを変えて環境学習会、ゴミローラー、年5回、サケ保全年3回、ビオトープ造成年2回ほど。

活動の概要(活動の経緯も含めてご記入ください)

2006年、30年前にホタルが見られなくなった場所にて再生活動を開始。雑草地を整備し、流れと湿地を作り、ホタルの卵を放流。翌年、成虫となることから、本格的に整備。2008年から、こどもエコクラブホタルレンジャーが活動の中心となって保全をしています。

団体名・グループ名

逆川こどもエコクラブ

活動の場所(様子や環境など)

水戸市逆川緑地公園内の湿地帯

この場所に出る湧水は、江戸時代に水戸黄門が市民に送る水として水道管を使って所です。

タイトル

「黄門さまの湧水にホタルを飛ばそう」

活動を始めたきっかけ(興味を持ったことなど)

私たちの大好きな逆川緑地には、8年前から、ホタルが舞う環境になりました。しかし、ホタルを毎年発生させるためには、3つの条件が必要と言われました。(クラブのサポーターから)

今年、こどもエコクラブのメンバーの中から25人で、ホタルレンジャーを作り、

3つの条件!を体験しながら、ホタルを発生させたいと思いました。

私たち逆川こどもエコクラブでは、8年前に雑草を整備し、ホタルの卵を1回だけ放流し、そこから成虫まで、サイクルを保っています。



活動の目標(やってみたいと思ったことなど)

- ホタルが発生する、3つの条件を体験すること。
- 活動内容を陸新聞にまとめて、全国大会で発表すること。

◦3つの条件とは、

- ①草刈り
 - ②あぜづくり
 - ③水路ザリガニ釣り
- を、チャレンジしました。



◆この活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト(自由記入ノート)

逆川ホタルレンジャー隊では、右の図に示す、流れてホタルを保全しました。このうち、「自然サイクル」のための、条件①「草刈」、②畦づくり、③水路についてレポートします。

逆川こどもエコクラブ



ホタルレンジャーの活動報告

①草刈り

5月、6月、10月の3回、ゲンジボタルの生息地の草を刈りました。草は、水路をおおってしまうので、ホタルの幼虫が陸に上がれなかったり、サナギになれない原因となりますので、定期的に除草します。



②畦づくり

6月上旬、秋からは、ゲンジボタルのサナギが入れるように、毎年畦を作ります。来年のために、高くしておくのです。



③水路の清掃とサリガニつり

天敵のサリガニを除去します。



◆この活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

活動で工夫したこと、困ったこと

畦は、土の重さで下がっていくことが、分かりました。
 サナギが入るための土が、ホタルには必要です。
 私たちは毎年、10cmずつ、畦の高さを上げています。
 土を運ぶことや掘り出すとは大変ですが、
 ホタルのために続けています。



活動で気づいたこと、感じたことやおもしろかったこと



ホタルを、自然サイクルで発生させる
 ため、市街地の公園に私たちが
 できることを行っています。
 8年前に印お、かえたホタルを
 ずっと発生させていくことは、
 大変な作業と思います。
 里山のホタル発生地では、農家の
 人たちが草刈りや畦つくりを水田
 のために行っています。
 ホタルは、そんな場所に
 生きていることに
 気づきました。



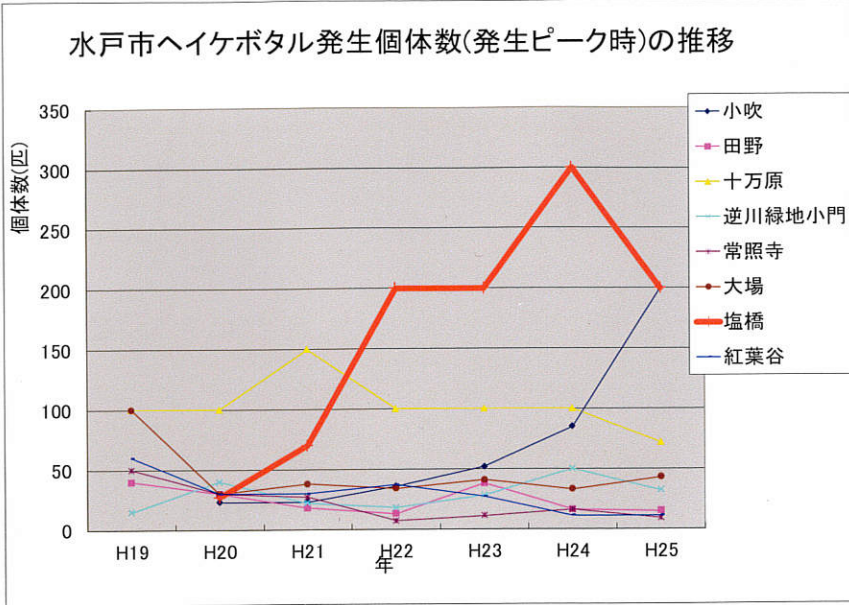
◆この活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

活動からわかった課題、自分たち「こどもホタルレンジャー」にできること

平成20年に仰から一年間、現地で発生したホタルのうち、ハイケボタルは、20匹にも増えました。毎年、保圧のための管理は文庫仔のことで、仰からもホタルレンジャーとしてがんばります。



こどもエコクラブ「全国大会で」



ホタルについて発表しました。

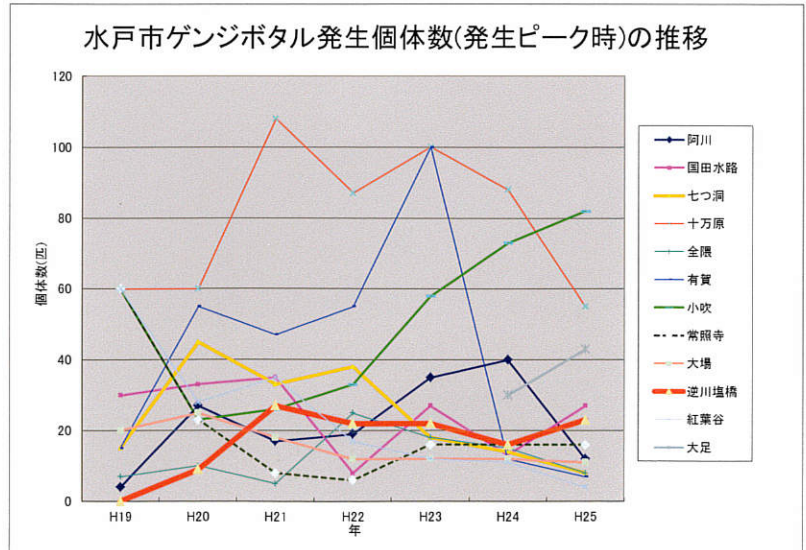
逆川ホタルレンジャー8年の歩み「放流しない！自然サイクリに成功！」

大人の人と一緒に、改善していきたいこと

面積からして、ゲンジボタルの発生数は、20匹前後か、やっとかも知りません。

ゲンジボタルの生息地(約20㎡)は、もう少し、

整備をして、30匹ほどの安定して発生できるようにがんばります。



◆この活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

「地域の水環境調べ・テーマ活動」(テーマを選択して記入※ぜひ、いずれかのテーマ活動に取り組んでみて下さい。)

木曽川のサケの卵調査隊 保全活動

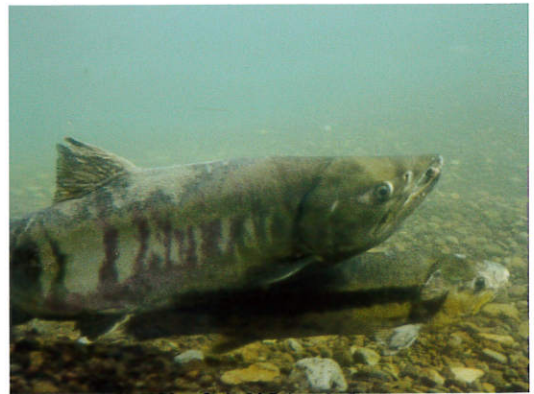
テーマ活動の内容・結果

水戸市を流れる木曽川では、
9年前からサケが上がるよう
になり、産卵しています。
私たちサケレンジャー隊は、
毎年、サケの卵を採取して、
受精率を調べています。
11/31と、12/8に実施し
ました。



テーマ活動からわかったこと・考えたこと

今年は、206匹が木曽川に
上って、卵を産みました。
卵は、約2,000個、取れました。
そのうち、生きていた卵は、
約60個でした。
サケが命をかけて河の底に
卵を産んでいきすが、生きて
いるのは3%程度あることがわかりました。



水質調査・水生生物調査(身近な川について) 調査結果のまとめシート
 実施した団体のみ、レポートと一緒に提出してください。今後の事業の参考にします。

水質調査結果: できたら、季節ごとに何回か実施してみましょう。

学校・グループ名	逆川ニトモエクラブ		川の名前	緒川	
採水月日・時刻	7月6日	AM 10時00分	天候	晴・曇・雨	
現地気温	℃	現地水温 22℃	試水水温 (測定時) 25℃	前日の天候	晴・曇・雨
COD(D) (mg0/L)	原水・測定値	0・(1)・2・3・4・5・6・7・8 以上 (○をつけてください)			

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)	
水質階級 I	1 アミカ類
	2 ナミウズムシ
	3 カワゲラ類 ○
	4 サワガニ
	5 ナガレトビケラ類
	6 ヒラタカゲロウ類 ●
	7 ブユ類 ○
	8 ヘビトンボ ●
	9 ヤマトビケラ類
	10 ヨコエビ類
水質階級 II	11 イシマキガイ
	12 オオシマトビケラ
	13 カワナナ類 ○
	14 ゲンジボタル
	15 コオニヤンマ ○
	16 コガタシマトビケラ類 ●
	17 ヒラタドロムシ類
	18 ヤマトシジミ
水質階級 III	19 イソコツブムシ類
	20 タニシ類
	21 ニホンドロソコエビ
	22 シマイシビル
	23 ミズカマキリ ○
	24 ミズムシ
水質階級 IV	25 アメリカザリガニ
	26 エラミミズ
	27 サカマキガイ
	28 ユスリカ類
	29 チョウバエ類
水質階級の判定	水質階級 I II III IV
1. ○印と●印の個数	4 3 1 0
2. ●印の個数	2 1 0 0
3. 合計(1欄+2欄)	0 0 0 0
この地点の水質階級は	E です

調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)	
調査河川名	緒川
調査地点名	緒川橋
昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか? <input type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> ちがう場所で調査した
調査日時	2013年7月6日 10時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい
水温	22℃ (小数点1桁まで記入して下さい)
川幅	約 15 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)
生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい
水深	約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい
以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい	
流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)
川底の状態	<input checked="" type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他
水のおい	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)
水にごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)	魚類
スジエビ モクズガニ	カワムツ オカマ ヨシボリ カジカ
水草類	鳥類 その他、気づいたこと
	チョウゲンボウ コイハスグ

水辺のすこやかさ調べ 調査結果のまとめシート

実施した団体のみ、レポートと一緒に提出してください。今後の事業の参考にします。

学校・グループ名	逆川=ともエコクラブ	調査を行った人数	53人
調査した川の名前	糸者川	調査した日	平成25年7月6日(土)
調査した川の位置 (区間)	那珂川水系(常陸大宮市)	調査を始めた時間 から終わった時間	9時頃から 11時頃まで
調査地点の気温	25℃	調査地点の水温	22℃

調査軸	調査項目	平均	調査軸	調査項目	平均
自然なすがた	流れる水の量	1m ³	快適な水辺	景色(感じる)	○
	岸のようす	小石あり		ごみ(見る)	×
	魚が川をさかのぼれるか	○		水とのふれあい(触る)	○
	総合平均			川のかおり(かぐ)	×
ゆたかな 生きもの	河原と水辺の植物	○	地域との つながり	川のかおり(かぐ)	○
	鳥の生息、すみ場	○		川の音(聞く)	○
	魚の生息、すみ場	○		総合平均	
	川底の様子と底生生物	○		歴史と文化	○
	総合平均			水辺への近づきやすさ	○
水のきれいさ	透視度	>100cm		日常的な利用	○
	水のおいしさ	よし		産業活動	×
	COD(自由選択)	1		環境活動	○
	総合平均			総合平均	

(まとめ)
川について気づいたことをまとめてみましょう。また、例えば、下のレーダーチャート図を作成し“水辺のすこやかさ(健やかさ)”を見てみましょう。

